

業務資料 16.005-16.006

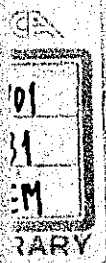
取扱注意

昭和 41 年度営農援助関係実施報告書  
昭和 42 年度営農援助計画について

( 追 録 )

1. 営農普及活動計画について
  - (1) ~ (6) 発 刊 済
  - (7)           ラーモス移住地
2. 実施報告書
  - (1) ~ (6) 発 刊 済
  - (7)           ラーモス移住地

海 外 移 住 事 業 団

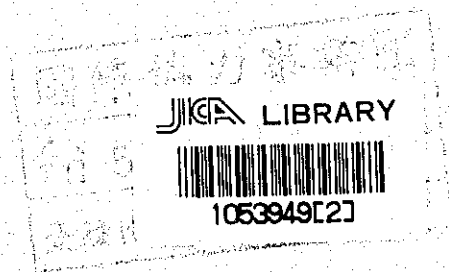


国際協力事業団

受入 月日	'84. 5. 22	701
登録No.	06605	81
		FM

4.1  
K

昭和 42 年度営農普及活動計画書



営 農 環 境

概 況 表

ポルト・アレグレ支部 ラーモス事業所

昭和41年12月現在

部 門	区 分	現 状	問 題 点	対 策
自 然 環 境	地 質・土 壤	中生代の三紀に生成されたジェラル山脈塔岩帯に属し玄武岩を母岩とする。小波状形をなすラテライト系土壌であるが比較的肥沃で、暗赤褐色を呈する。 大部分は壤土で、部分的に植壤土、砂壤土が含まれている。	裸地の土壌浸蝕がひどい。 酸性土壌で鉄分含有量が多く土壌矯正に工夫を要する。 新開地では速効養分が比較的少なく、 蔬菜類では初期の発育が無施肥では思わしくない。	等高線栽培，草生栽培の普及をはかる。 石灰施用に併行して堆厩肥の併用，緑肥作物の導入により常時地力の維持増進をはかる。 育苗床地の焼土，厩肥の利用，速効性化学肥料の施用。
	気 温	年平均気温は 15.7℃で，6月が最も寒く 10.4℃，最も暑いのは 1月で 20.0℃である。 年平均最高気温は，24.5℃で最低は 9.1℃である。気温較差が大きく，日により 25℃以上の差も見られる。	移住地に多年積み上げたデータがないので隣接の小麦植民地（約 12 区）のものを利用しているが，時々明らかに誤数とみられるものがあり，全面的に頼ってはいられない。 初霜，晩霜の巾が広く，特に晩霜の被害が大きい。	最近組合を通じて入植者に責任観測を依頼し，現在は正確な記録がとられており，これを積みあげてゆくことにより移住地独自の信頼できる資料がき上がる筈である。 適期作付，防霜法の研究と実施で最少限度にくいとめる。
	降 雨 量	年間降雨量は，1,346mm程度で年により 1,088mm～1,944mmの差異が記録されている。概ね 6，7，8月が寡雨期で，それぞれ月平均 58.7，58.1，及び 83.3mmとなっている。 一方多雨期は 9，10月と 1，2月の 2期で，それぞれ 192.9，143.9，および 131.8，145.8mmとなっている。	果樹の開花期及び収穫期に比較的雨量が多く，授精がそこなわれる外果実の糖度が低下するおそれがある。	品種の選択，管理作業の徹底をはかる。 適期に収穫調整をあやまらぬ様施設々備の充実をはかる。

部	門	区	分	現	状
自然環境			降	霜	年間平均降霜日数は32日で4月～9月にわたり記録されているが、このうち6月が最も多い。
			水	利	移住地境界をマロンバス河が流れており、その支流が移住地内に2本通じている。 周年概ね平均した降雨があり、地形的に所々に湧水がある外ロッテによっては河水を農耕に利用する外井戸水を家庭では利用している。
			植	生	従来はバラナ松の自生地帯であったが、現在はまとまった松林はなく、伐採後は雑木林又はガウナ、ブグレ、カネラ、インブイヤ、ブラカチンガ、竹などの自再生叢林を形成している。
生活環境	生	活	食	生活	米、麦粉、豚鶏肉、野菜類、味噌は殆んど自給している。
			衣	生活	経済力の個人差により新規購入は低調であるが、比較的洗濯はよく行われており清潔さを保っている。
			住	生活	IRASCとの協定により住居建築施設用資材は一切(70㎡)ロッテ代に含まれて3年据置10年分割均等無利子払いで融資されているが、移住者の住居としては極めて上等である。 炊事場は床、壁煉瓦張り、カマドはそれぞれ工夫した改良カマドを施設しているように思う。 井戸はそれぞれ住居近くに設けられていて水は

問	題	点	対	策
年により10月～11月の	降雨実績が	記録されており、果樹の開花期、小麦の出穂期の被害を或る程度覚悟しておく必要がある。	防霜施設を研究すると共に晩生品種優先の品種選択を行う。	
開拓が進むにつれ湧水量が減少すると共に、	土壌の老朽化に伴う乾湿の差が大きくなり、	営農の安定を傷つけるおそれがあり、	入植者の自覚と百年の大計を必要とする。	灌排水施設の完備 計画的伐採、保有林の育成又は植林の実施。
伐採後に大きいものは30～40cmの	切り株が残り、	営農の機械化、省力に相当な影響が認められるが、	人力による抜根は極めて困難である。	大型機械の導入
邦人の慣行食生活上、	魚類、醤油等を	購入する家族がある。 特記するような問題点はない。	貯水池の構築による養魚(コイ・チラピア等)、	醤油の自家製造、婦人会の活動を更に充実してゆきたい。
窓硝子についてIRASCからの	資材に含まれて	いず板張り窓であるために概して家内が暗い。特に雨天の場合は採光が充分でない。(一部ビニールを代用しているものもある)	年次を重ねるにつれて雨水による外壁の腐朽が気になるが、	営農面で資金優
推進中の移住地電化を	早期実現に	努力する。	営農振興をはかり、	経済力を確固たるものにして、一日も早く住居の保全、美化に努力できるよう両面の指導を徹底する。

部 門 区 分	現 状	問 題 点	対 策
生 活 環 境	きれいである。 便所は住居からはなれたところに施設されている。 各入植者共申し合わせたように花壇が整備され注目される。	先のため塗料による防蝕にまで及んでいない。	物心両面で住みよい生活の場(城)を築くよう一層の指導を強化する。
社 会 経 済 環 境	<p>当地方一帯はテラ・ロシア系であるので雨が降ると幹線(州国道)以外は交通便が悪化する。移住地内では、これまで松材搬出のため古くから利用されていた旧道を利用して来ており、一応各入植者の農作業には大した支障はないが、出荷、資材(肥料など)搬入には大型トラックが使われるので特に雨期ではかなりの支障が見られる。</p> <p>移住地よりクリチバーノスに通ずる郡道は地元市長の協力で近く改善工事が進められることになっている。</p>	<p>移住地幹線道路及び各ロッテを結ぶ支線はIRASCとの協定によりIRASCが造成することになっておるが、IRASC自体の保有予算が少ないために予算面で難航しているが、IRASCとしては、あくまでも協定を履行すべく州政府関係各省と折衝を開始している。協定を履行せしめるために、かなりの折衝予算を必要とするが予算的制約をうけて能率が上らない。</p>	<p>これまでの経緯からして当支部の折衝は対IRASCは云うまでもないが、幹線道路工事に関してはIRASCに歩調を合わせて州知事外関係各機関への強力な陳情、折衝を行い、一日も早く簡易舗装幹線を完成するよう努力しなければならない。</p> <p>相手国の協力、援助を充分利用した移住地推進は合理的かつ経済的なものであるが、伯国のような非常にのんびりした対象という特殊性を充分計画にいたれた或る程度の折衝、渉外予算をくんで当らなければうまくゆかない。</p>
環 境	<p>週2回当団ジープ(駐在員事務所々風)がクリチバーノスに定期往復している。</p> <p>週2回、移住地近くをバスがクリチバーノス市に往復している。</p> <p>移住地組合と造成業務の円滑推進のため当団でトラックを配置しており、販出、購入などの機動力として役立っている。</p>	<p>移住地センター入口に予定されている架橋工事が完成すればこれまでのクリチバーノス迄の道程は大巾に短縮されて23kmとなるが、それまではかなり不便である。</p> <p>移住地の道路が悪いので、車輛の維持運行のための予算が非常に窮屈である。</p>	<p>架橋により移住地の社会的、経済的諸条件が画期的に改善されるので、架橋については、地元市長、小麦植民地組合と共に関係機関に対して強力な陳情、折衝を行い、早期実現に努力しなければならない。</p> <p>道路の整備と車輛運行内規設定による保安を開する。</p>

部 門 区 分	現 状
社 会 経 済 環 境 通	生産物販売機構 入植者が農業協同組合を組織して協同販売体制をとっている。しかし大型市場への出荷については協同出荷のみで販売は有力農協連（現在は南伯中央農産組合）に委託している。 組合で少量宛クリチバーノス市の商店に卸売している。
	市 場 クリチバーノス（23 km）、ラージェス（104 km）、ポルト・アレグレ（460 km）、サンパウロ（750 km） それぞれの市場に向け、市況、生産出荷量を勘案して輸送している。
	加 工 企 業 自家用程度に行っているが全入植者にわたっていない。
	雇 用 労 力 各入植者の保有稼働力状況により、若干雇用労力を導入しているが、多くのものは自家労力で経営している。

問 題 点	対 策
ラーモス農協が法定単協になっていず、個人組合員同率の販売手数料を徴されており、単協では切角の協同出荷販売事業に対する利益をあげられない。 運送費が高くつく上に日によって過不足を生ずる。	組合の法定化推進により単協加盟を行い、販売手数料の半減を獲得し、単協自身の経済基盤をかためよう指導する。 クリチバーノスに倉庫兼販売所を建設したい。（クリチバーノス市より建設用地の贈与約束をとりつけている）
入植者がまだ少い上に永年作物、養豚等永年性営農基礎がためのため、特に短期作生産物が合理的にまとまらず、市況を有利に展開するのに苦心している。 ポルト・アレグレ市場は市況が安定していない。	早期蒔植の推進。 短期作の組合中心の計画生産を強化する。 市場調査、状況速報知の方策を検討する。（組合指導） 量、質をまとめてサンパウロ等の大型市場向けを強化する。
食生活の改善を計画的に行う認識が不足している。 豚肉加工、飼料、調味料などの準備がバラバラである。	自給度を高めるよう特に加工指導を行う。 組合、青年会、婦人会等の協同加工事業を促進する。 将来は完全な組合事業として施設、運営を援護してゆく。
果樹の生産期を迎える頃は営農規模もかなり企業性を要求されることになろうから、どうしても労力の不足が目立つものと考えられる。	季節労務者の導入を行う。

部 門 区 分	現 状	問 題 点	対 策	
社 会 経 済 環 境 通	現 地 技 術 指 導 機 関	ヴィディラ市 ( 60 km ) , サン・ジョアキン ( 187 km ) , カッサドール ( 80 km ) にそれぞれ試験場および支所があるので、できるだけこれを活用している。	現地の試験資料に確固たるものが乏しい。特に栽培技術面でのデータは殆んど頼っておれない。 入植者が直接伯語資料を読解する力がない。	移住地青年層を中心に各自のプロジェクト活動を強化すると共に委託栽培を継続実施して漸新的な向上をはかる。 伯語教育の便を常時指導する。
	受 入 国 農 業 政 策	地域農業開発策を強力に推進しようとしているようで、このためその目的の一環となっている移住地の営農充実に対して銀行融資、各農業指導機関の積極的な協力援護を推進している。	政策に一貫性がかけており、時に農業者を非常な苦境に追い込む如き事例が認められる。奥地性の高い本移住地では流通税 ( 売上高の 15% ) は悩みのたねで、改善が要望されている。	関係当局との折衝を強力にして悪法は悪法として、資料を準備して改善策をおしすすめる。 入植者の各プロジェクトを記帳営農に直結して常時資料の確立体制を組合を通じて指導する。
	現 地 普 及 機 関 と 邦 人 移 住 地 と の 関 係	クリチバーノス市駐在の IRASC 職員、隣接小麦植民地に駐在の ACARESC ( サンタ・カタリーナ州農村信用援護協会 ) 職員、4-H クラブ指導員等とは常時綿密な連絡をとりながら普及活動を行っている。これらの普及機関主催の講習会、演技会には組合代表を出席せしめて特に地域社会との協力体制を推進しつつある。	入植者のブラジル語理解力が乏しいため充分の吸収を期せられ難い。	特に将来の組合が地域の伯人も吸合して日伯相協力した移住地の実をあげるためにも伯語の訓練については濃密指導を行いたい。



農作物・家

ポルト・アレグレ支部 ラーモス事業所

部門	区分	現 状
作物	永年作物	<p>ネクタリン(油桃) 全入植者16戸のうち15戸が植付けている(1年生1,180本, 2年生2,370本)</p> <p>桃 10戸が試験的に植付けているが, ネクタリンの授粉樹としての効果もねらっている(331本)</p> <p>その他の果樹 スモモ(28本), リンゴ(61本), ナシ(18本), ブドウ(31本), クリ(8本), それぞれ自家用又は供試用として優良品種を植付けている。</p>
	短期作物	<p>小麦 13戸が12.6ha栽培している。</p> <p>トウモロコシ 全入植者が53.5haを栽培している。</p> <p>フェイジョン 11戸が11.3haを栽培している。</p> <p>陸稲 9戸が3.0haを栽培して自給を目ざしている。</p> <p>馬鈴薯 13戸が9.85ha それぞれ春秋2期作を行っている。</p> <p>ニンジン 6戸が0.9ha栽培, 夏期高冷の気象条件を活かす。</p>

畜別概況表

昭和42年4月現在

問題点	対策
<p>抜根整地を入念に行ったものとそうでないものとの発育の差がかなり見られる。</p> <p>晩霜によって当地方全体的に昨年は不作であったが, これが最大の問題点。既存品種については生産性, 市場性共にかなり疑問があるので推定優良品種を決めて試作しているが, 早急には確たる結論を出し得ない。</p>	<p>移住地に施設してある百葉箱の徹底的活用を指導し, 霜害防止については, 身近かなところから研究し, 設備, 必要資材の確保を計画的に行うよう組合指導部を指導する。</p> <p>当分は自家用程度に期待するも種類別に生理学的, 植物学的な特性を十分に観察しながら, 来るべき経済栽培にそなえるよう生活体制を指導してゆく。</p>
<p>今期作は品種, 播種期により晩霜の被害をうけた(伯国小麦作共通)</p> <p>大半が焼畑式作付で, 単位収量が満足すべきものでない。</p> <p>収穫期の降雨による品質低下が目立っている。</p> <p>品種が雑多であり収量が少い。</p> <p>優良種薯の入種が困難で輸入薯を用いている。初晩霜の被害を若干見込んでおかねばならぬ。</p> <p>発芽時に若干の日焼けがあり, 発育が不揃いになりやすい。</p>	<p>品種の検討と防霜害のための栽培技術の普及が必要。(春蒔性の高い暖地向小麦品種の導入と冬期の徒長防止技術の普及)</p> <p>整地法の認識と肥培を徹底させる。</p> <p>短期日に適期収穫して雨前格納を実行させる。</p> <p>各地より優良品種を集めて比較試作を併行する。</p> <p>採種栽培を併行する。</p> <p>灌水施設と日除けを併行し, 集約栽培方式をとる。</p>

部 門	区 分	現 状	問 題 点	対 策	
短期作物	ト マ ト	7戸が1.0ha栽培		市場価格が不安定である。中期以後の疫病の発生が多い。 育苗が非常に不揃いになりやすい。品種が雑ばくで貯蔵に不便、苗床での霜害が見られる。貯蔵庫の条件が不揃いである。	市況調査を行い栽培を加減、投機経営をいましめる。 苗床の防霜設備を準備せしめる。 品種の選択を計画的に行い、採種地での母体検討を行う必要がある。貯蔵庫の改良を組合に指導する。
	タ マ ネ ギ	7戸が2.1ha栽培			
畜産	飼 料 作 豚	11戸が882haの牧草用栽培を行っている。 (ラディノ、クローバー、青刈トウモロコシ、カウピー、サツマイモ、マンジオカ、コーンフリー、イタリア・グラス、エンバク等) 14戸が飼育(繁殖用豚45頭、肥育用豚192頭)している。	適性種認定の結論がまだ出ず、経済栽培への移行が決定的になされていない。  豚舎の設備が全般的に不完全で、施設費に相当な資金が必要。 優良乳牛の導入に安全性が乏しい(保証票付が少い) 入植地で余剰となったものについて加工か市乳か計画がはっきりしていない。  特記事項なし 。 。 。 放し飼いが多い。	試験作(委託栽培)を続行する。  現地金融機関よりの特別融資をあっせん、改善を行う。 人工授精を行い、系統の改善をはかる。 現在クリチバーノス市の牛乳は絶対量が不足しているため市当局では市販を期待しているが、営農経済、生活改善との関連を併わせて検討してゆく。 特記事項なし 。 。 。 鶏舎設備の普及をはかる。	
	乳 牛	6戸が8頭を飼養して、自家消費の余剰分は他の入植者に配給している。 漸次各入植者が導入する体制を進めている。			
	耕 牛	2戸が4頭飼育していて農耕に利用している。			
	耕 馬	6戸が6頭 たわら交通にも利用している。			
	山 羊	1戸が2頭飼育している。(自家用)			
	鶏	15戸が273羽 。( )			

改善対策の選

ポルト・アレグレ支部 ラーモス事業所

地区又は 区域名	部門	改善上の問題点	同左対策
ラーモス 移住地	自然環境	1. 森林伐採後は降雨による土壌浸蝕が地区地形上ひどいこと。	等高線栽培, 草生栽培, 防風砂防用堤防の構築
		2. ラテライト系土壌には鉄分が多く, 多雨と相まって酸性化しやすいので土壌矯正に不断の工夫が必要。	石灰の施用, 有機質肥料の多用, 緑肥の栽培。
		3. 気象観測の実績が明らかでなく資料不確実。	観測責任の所在を明らかにし, 組合の自主的実施を指導する。
		4. 果樹類の開花期及び収穫期にうける降雨による授粉不順と病虫害。	品種の勘案, 病虫害防除の回数を集約する。
		5. 晩霜, 早期初霜による被害	品種の検討, 気象予報の把握と燻煙実施
		6. 水利上の多湿, 過乾の格差	植林, 保有林の育成, 灌排水設備を行う。
		7. 伐採跡の抜根	大型機械の導入
生活環境	生活環境	1. 食生活改善, 魚類の不足, 調味料の購入	養魚の普及, 調味料加工自給について経済性を指導する。
		2. 住居の保全が徹底していない。	生活環境の改善整備について特に婦人会を指導する。

定とその性格

昭和42年4月現在

対策の性格					実施主体			可能性		
普	調普	試	資	他	事	事・他	他	困難度	適用度	効果
	○					○		B	中	大
	○					○		B	大	大
○						○		A	大	大
○		○			○			A	中	中
	○	○				○		A	中	中
			○			○		A	大	大
			○			○		B	大	大
○					○			A	大	大
○					○			A	大	大

地区又は 区域名	部門	改善上の問題点	同左対策	対策の性格					実施主体			可能性		
				普	調普	試	資	他	事	事・他	他	困難度	適用度	効果
	社 会 経 済 環 境	1.幹線道路と各ツテを結ぶ支線の工事が非常におくれており、営農に支障を来す場合がある。	IRASC を中心とする現地政府機関への折衝を強化して早期完成を促進する。					○		○		C	大	大
2.移住地よりクリチパーノス市までの交通条件がよくなる。		現地機関への陳情を積極的に行って架橋による短縮路の確保を促進する。					○		○		B	大	大	
3.生産物流通について組合の事業利益が確立されていない。		移住地組合の法定化を指導促進する。		○					○		B	中	大	
4.豚肉加工及び飼料配合作業が個々で行われており経営的に非常に不経済である。		組合の協同事業部門を拡充する。				○			○		B	中	大	
5.時期的な労力不足により適期作業を逸しがちである。		移住地周辺よりの季節労務者を導入する。						○		○	B	中	中	
6.現地研究、試験場データが不完全である。		展示試験圃場の設置運営、委託栽培の実施を行う。				○			○		B	大	大	
7.入植者の伯語理解力が低い。		ブラジル語講座を継続実施する。(青年会)			○				○		A	中	中	
8.生産物の流通体制が不確実である。		市場調査と計画生産を行うよう組合を指導する。			○				○		B	大	大	

営農普及活

ポルト・アレグレ支部 ラーモス事業所

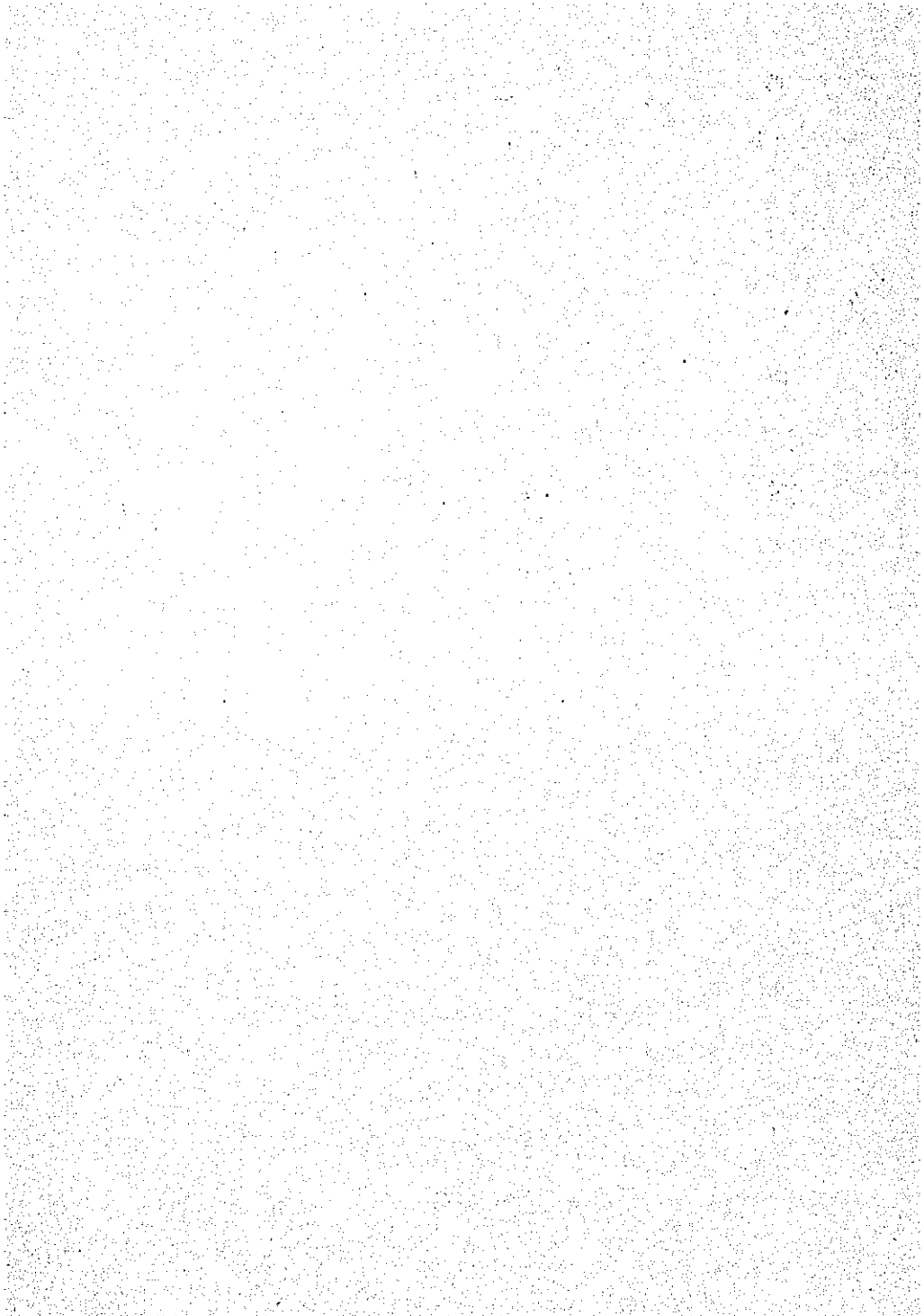
月別	普及指導事項	到達目標	対象地区名又は研究グループ名	
4	過去の営農反省と次年度計画	各作物につき過去の失敗の原因を追求して対処する。	家長および青年	
	ネクタリンの冬期管理作業	薬剤撒布により休眠期をおくらせ発芽期の晩霜にそなえる。	"	
	優良豚の選択と飼養管理	産仔、泌乳、哺育能力の優れた豚を繁殖豚として育てるための合理的飼養管理法の研究修得	青年会養豚研究グループ	
5	過去の営農反省と次年度計画決定	計画営農案の策定と協議(組合員・個人)	家長および青年	
	ネクタリンの冬期管理作業	輪耕施肥により新芽の充実による良好な結果にそなえる	"	
	繁殖豚の冬期管理	出産に備え、保温、哺乳に注意し、哺育率を高める。	養豚研究グループ	
6	小麦の作付	品種の選定と播種期の厳守	家長および青年	
	玉葱の苗床管理	防霜対策と優良苗の育成	"	
	ネクタリンの整枝剪定	基本樹形の決定と結果調整	"	
	養豚の飼料計画樹立	年間の自給飼料計画を経営の中に取りこむ	"	
7	果樹の病虫害防除	冬期の管理、新芽の保全	家長および青年会	
	馬鈴薯の作付	品種の選定(種薯の導入)、整地の徹底	"	
	牧場の改善指導	養豚、酪農用牧場の整備	"	

動計画表

昭和42年4月現在

対象件数又は実施回数	普及の方法	推進方法					摘要
		実施場所	担当者	協力機関又は協力者	準備		
1回	最終土曜の営農懇談会	センター	香川・本多	農協・青年会	営農参考資料		
2回	臨時懇談会、巡回研究会集会、巡回	現地	本多	"	"		
		現地	香川・本多	農協・指導部	"		
1回	最終土曜営農懇談会	センター	香川・本多	農協・青年会			
2回	臨時懇談会及び巡回	現地	本多	"	営農参考資料		
2回	研究会集会、巡回	現地	香川・本多	農協・指導部	"		
1回	懇談会および巡回	センター・現地	香川・本多	農協・青年会	資料		
1回	"	"	"	"	"		
1回	"	"	本多	"	"		
1回	"	"	香川・本多	"	養豚飼料パンフレット		
1回	懇談会および巡回	センター・現地	本多	農協・青年会	資料		
1回	"	"	香川・本多	"	"		
1回	"	"	"	"	"		

月別	普及指導事項	到達目標	対象地区名又は研究グループ名	推進方法						
				対象件数又は実施回数	普及の方法	実施場所	担当者	協力機関又は協力者	準備	摘要
8	年間の経営資金繰計画指導	各入植者別営農計画と資金繰計画を策定	家長および青年会	1回	最終土曜日の営農懇談会	センター・現地	香川・本多	農協・青年会	資料印刷	
	豚の販売計画と実行計画	協同出荷体制の確立、市場調査と協同加工	"	1回	研究集会	"	"	"	"	
	委託栽培の報告書指導	試験データの整理、活用パンフレットの作成	"	1回	委託農家の巡回	現地	"	農協	"	
9	人参の栽培	品種、播種期の決定、発芽時の徹底管理	家長および青年会	1回	最終土曜日の営農懇談会	センター	笹田・本多	農協・青年会	資料	
	優良繁殖豚の導入	果樹、畜産構造の基本線をかためる	"	1回	研究集会	"	香川・本多	"	"	



# 營農普及活動實施報告書



営農普及活動

実施報告書

ポルト・アレグレ支部 ラーモス事業所

昭和42年4月現在

月別	普及指導事項	普及の方法	対象地区名又は研究グループ名	対象件数又は実施回数	成 果			営農指導費よりの支出金額	摘 要
					当初目標	実現した成果	実現出来なかった要因		
10	乳牛の導入についての検討と指導 養豚経営の合理化について当面の問題点を検討	オランダ植民地(パラナ州)視察調査 定期営農懇談会で当面の問題点を出し合って討議して対策を決定する。	移住地青年会, 4日クラブ 農協, 養豚研究会	1回  適時	希望者全員  優良系統品種の導入	80 %  70 %	旅費の都合で全員参加できず 資金不足により全品種の導入ができず		
11	ネクタリンの基本整枝剪定を指導する。  現地金融機関の営農融資開拓を指導すると	講義と実地指導, 巡回  移住地組合を通じて各戸別営農計画書作成指導を行う。	全入植者  融資金導入希望者全員	1回  3回	剪定についての理論と実地技術を習得する。  希望者全員借入完了	80 %  50 %	各人の果樹園実地指導の回数不足による徹底指導ができず  手続書類作成の不備と遅延		が書類の作成
1	ネクタリンの初収穫を機に品質, 市場性等について検討協議を行う。 果樹の市場調査を行う	フロリアノポリスに出張, 州政府高官にネクタリンを贈与, 生産物市場開拓についての宣伝協力を要請した。 調査資料を組合員に配付提供	全入植者 "	1回 4件	ネクタリンの価値認識の確認 資料蒐集と印刷	100 % 50 %	手不足で印刷できず 組合宛提供	連絡通信費	
2	農家経済調査票を分析し, 経営上の問題点を抽出して討議する。 リンゴの適性調査	営農懇談会で討議を行う。 近傍の既成園及び試験場を調査その結果を組合員と共に討議	家長および青年会 "	1回 3件	経営改善策の確認 台木を含めて適性品種の探求	50 % 90 %	記録簿が徹底していない 台木の入手に若干困難が残る。		
3	冬作牧草の積極的な作付を指導  ネクタリンの優良品種導入	パンフレットの作成配付  ベロッタス農試より穂木を導入, 移住地で繁殖, 試作を行う。	家長および青年会 "	2回 1回	冬期に十分な牧草を確保する。 穂木の導入	70 % 100 %	手不足でパンフレットを配付できず		



LIE